

平成 29 年 2 月 1 日

エンジニアリング協会 関係者の皆様へ

一般財団法人 エンジニアリング協会

専務理事

前野 陽 一

1 月に入って、暖かい日もありますが、寒い日が多いように思えます。私は、家から最寄り駅まで自転車を使うので、特に北風が身にしみます。皆様お元気でお過ごしでしょうか。

著名なシンクタンクであるユーラシアグループは、年初にその 1 年間に予想される世界のリスクを発表していますが、今年は、その第 1 位が「わが道を行くアメリカ (Independent America)」でした。当協会では、トランプ氏が選挙に勝った直後 (12 月 1 日) に、アメリカ研究者である渡部恒雄様 (笹川平和財団 安全保障事業企画室 特任研究員) に「米国新大統領と日米関係」と題する講演を行っていただきました。渡部様の講演は、「トランプ氏の発言はいずれ『選挙モード』から『統治モード』に変わり、その政策も共和党主流派の考えに近づいていくだろう」といったものであったと思います。

しかし、1 月 20 日に行われたトランプ大統領の就任演説では、依然として「選挙モード」が続いているような気がします。

また、今年は、4～5 月にフランス大統領選挙、9 月にドイツ連邦議会選挙が予定されており、反 EU の雰囲気が高まる中で、結果がどうなるか注目されるところです (ユーラシアグループも、世界のリスクの第 3 位に、「弱体化するメルケル」を挙げていました。)

更に、中東や中国の情勢も気になるところです。

今年も当協会では、こうした問題について、適切な講師を選んで適宜講演会を行っていきたいと思います。

以下、1 月の主な活動についてご報告申し上げます。

[主要な活動内容]

1 賀詞交歓会の開催

1月5日（木）に毎年恒例の賀詞交歓会を、溜池山王のANAインターコンチネンタルホテル東京で開催いたしました。

今年も900名を越える皆様にお越しいただき、盛況に開催できましたことをお礼申し上げます。ご来賓も、ご挨拶をお願いした経済産業省の糟谷製造産業局長に加え、西脇復興庁事務次官、小林環境事務次官をはじめ、関係省庁や政府系機関の幹部の皆様にも多数お越しいただきました。

佐藤理事長は名刺を200枚お持ちでしたが、全て使い切ってしまったとのことで、私も100枚の名刺を使いきってしまいました。

気の早い話ですが、来年の賀詞交歓会（1月5日（金））もよろしくお願い申し上げます。

2 講演会等の開催

1月は、2件の特別講演会と2件のビジネス講演会を開催したほか、石油開発環境安全センター（SEC）設立25周年記念講演会とミニ講演会1件を開催いたしました。特に、石油開発環境安全センター設立25周年記念講演会については、年初（1月11日）の実施であったにもかかわらず、約80名の方にお越しいただき、経済産業省のご担当者からは、「いずれの講演も、予想以上の内容であった」とのお言葉を頂戴しました。関係の皆様には感謝申し上げます。

2月は、1件の特別講演会、4件のビジネス講演会及び2件の事業説明会並びに氷海技術研究講演会を開催するほか、福岡において、第4回エンジョイセミナーを行う予定です。

皆様のお越しをお待ちしております。

3 笹川平和財団主催 「北極の未来に関する研究会」への参加

1月16日（月）に開催された笹川平和財団主催の「北極の未来に関する研究会」に参加してまいりました。この研究会は、今後の利用が期待される北極海について、産官学政の関係者が一堂に集まって意見交換をするものです。

年末に、笹川平和財団の田中会長を訪問した際、当協会でも北極海の利用について勉強していることをお話し、参加を認めていただきました。

今後、賛助会員の皆様に情報提供をすることができると期待しております。

4 第2回 環境省スタッフによる賛助会員企業施設見学会の開催

適切な政策を行っていただくためには、関係省庁の皆様には、企業の現場を見ていただくことが重要である、と考えております。

このため、昨年6月、小林地球環境審議官ほか環境省スタッフの皆様には、大成建設(株)技術センターを視察していただきましたが、第2回目として、1月20日（金）に、梶原地球環境審議官ほかの皆様に参加いただき、JFE エンジニアリング(株)の横浜本社にて、施設見学会と技術交流会を実施いたしました。

当日は、大変肌寒い一日でしたが、リモートサービスセンターや環境関連の研究施設などを熱心にご覧いただき、多くの質疑応答がありました。

JFE エンジニアリング(株)様には、お忙しい中、吉田副社長以下多くの方にご対応をいただき、感謝の言葉もありません。

環境省の皆様も大変満足されており、今後機会を捉えて、同様の施設見学会を企画しようと思っております。

5 環境省の海洋関係ご担当者への説明会の開催

環境省では、海洋開発に係る環境規制を適切に実施するため、省内で勉強会を開催しておられます。先般、環境省の小林事務次官にご挨拶した際、そうしてお話を聞いたため、当協会の今までの研究成果についても、一度お話を聞いていただきたいとお願いをいたしました。

その結果、1月24日（火）に、早水大臣官房審議官をはじめとする環境省の皆様には、当協会の海洋開発室と石油開発環境安全センターのメンバーから、今までの研究成果についてお話をさせていただきました。

6 その他

年末に引き続き、当協会でご講演をお願いしたい組織のトップの方をご訪問しました。具体的には、1月10日（火）に、一般財団法人 日本エネルギー経済研究所の豊田理事長にお会いし、1月26日（木）に、日本貿易振興機構（JETRO）の石毛理事長を訪問しました。

2月の講演会の実施について

平成 29 年 2 月 1 日
エンジニアリング協会
専務理事 前野陽一

2 月は、1 件の特別講演会、4 件のビジネス講演会及び 2 件の事業説明会並びに、氷海技術研究講演会を開催するほか、福岡において、第 4 回エンジョイセミナーを行う予定です。

多くの皆様のお越しをお待ちいたしております。

なお、正式のご案内は別途お送りします。

1 日露経済協力の現状とロシア産業総合博覧会イノプロムについて (2 月 1 日 (水) 経済産業省 通商政策局 欧州課長 南 亮 様)

昨年 12 月に安倍総理とプーチン大統領との首脳会談が行われ、今後幅広い分野で日露間の経済協力が行われることとなりました。講師の南欧州課長は、ロシアを担当する課長として、日露間の交渉の経緯を熟知されておられるとともに、現在は、日露首脳会談のフォローアップでお忙しいと聞いております。

今回のご講演では、日露間で合意された内容に関してご説明いただくとともに、本年 7 月に予定されているロシア最大産業総合博覧会 INNOPROM2017 に関し、日本企業参加のメリットなどについてお話いただく予定です。

海外営業部門や経営企画部門の皆様に、お聞きいただければ幸いです。

2 わが国をめぐる資源情勢と JOGMEC の取組み (2 月 2 日 (木) 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) 副理事長 濱野 幸一 様)

JOGMEC は、わが国にとって必要な資源確保を目的とする政府系機関であり、昨今の資源エネルギー情勢の変化を受けて、その機能の強化を図ってきており、2016 年 11 月に根拠法の改正も行われました。

今回の講演では、昨今の資源エネルギー情勢の状況や、これを受けた JOGMEC の取り組みなどについて、副理事長の濱野様からお話をいただきます。

資源エネルギー関連部門の皆様はもちろん、経営幹部の皆様にもお聞きいただければ幸いです。

3 NEDO3 部合同事業説明会

(2月7日(火)) 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
(NEDO) イノベーション推進部 専門調査員 船木 照夫 様、
国際部 主幹 長谷川 浩之 様、
省エネルギー部 舘田 開 様)

当協会では毎年、NEDO が新年度に実施する委託事業などについて、その概要を直接担当される方からご説明を頂いております。

今年も、平成 29 年度事業について、NEDO3 部の皆様からお話をいただきます。

研究開発部門の皆様を中心に、お越しをお待ちしております。

4 エンジニアリング産業、「次の一手」が未来を創る

(2月14日(火)) (株)重化学工業通信社 ENN 編集長 丸田 敬 様)

講師の丸田様は、長年エンジニアリング産業の動向を見続けてきたジャーナリストであり、業界関係者の間でも広くその識見は知られているところです。

当協会では、定期的に丸田様の講演を実施しており、今回は、原油価格の低迷するなかで、エンジニアリング産業が如何に成長していくか、といった点を中心にお話をいただきます。

部門を問わず、多くの方の参加をお待ちしております。

5 氷海技術研究講演会

(2月15日(水)) 15時30分より)

① 北極の海底地形と資源・EEZ・大陸棚について

東洋建設株式会社 顧問 (非常勤)

GEBCO 指導委員会 委員長 谷 伸 様

北極海の海底地形の特徴、北極海に眠るとされている資源、北極海がどの国の管轄海域に属するのか、公海部分が残っているのか、ロシアが北極点に国旗を立てた行為の背景は何か、について講演して頂きます。

② ロシア・ヤマル LNG プロジェクトについて

株式会社商船三井 技術部 LNG 船プロジェクト

第二グループ マネージャー 近藤 良和 様

ロシア・ヤマル LNG プロジェクトに関わる、LNG 貿易量見通し、北極海航路の現状と見通し、課題事項及びヤマル LNG 船仕様概要、積出基地/LNG 船建造状況について講演して頂きます。

6 第 4 回 エンジョイセミナー in 福岡

(2 月 16 日 (木) 13 時 25 分より 於：福岡市 電気ビル共創館)

このご案内に添付しているとおり、福岡で 4 回目となるエンジョイセミナーを実施します。

今回は、九州経済産業局長の高橋直人様、(一財)日本エネルギー経済研究所常務理事の小山堅様及び長島・大野・常松法律事務所弁護士の勝山輝一様及び長谷川良和様からご講演いただく予定です。

本セミナーは、非会員の方でも無料でご参加いただけますので、是非関係会社やお取引先の皆様にお勧めいただければ幸いです。

7 2017 年度 JICA 民間連携事業説明会

(2 月 17 日 (金) 独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

民間連携事業部次長 兼 計画・監理課長 小西 伸幸 様)

近年 JICA は、各種事業を行うに当たり、民間部門との連携を重視していることは、ご案内のとおりです。

当協会では毎年、JICA の民間連携事業部の方をお招きして、新年度事業の重点をお話いただいておりますが、今年も同様の趣旨で事業説明会を実施します。

海外事業部門の皆様には、是非お聞きいただければ幸いです。

8 グローバル産業ネットワークの変遷とアジアの叡智

：ASEAN、特にカンボジアの創造性への賛歌

(2月21日(火)) アジア高度専門職人材育成ネットワーク (APEN)

事務総長 前田 充浩 様)

APEN は、ASEAN における高度専門職人材を育成することを目的とした組織であり、各国の主要な技術系大学のネットワークを構築するとともに、ASEAN の中小企業の評価システムをつくる活動を実施しています。

事務総長の前田様は、経済産業省の資金協力課長や在タイ日本国大使館に勤務された後、研究者の道を歩まれ、現在は産業技術大学院大学教授となっております。

前田様は、ASEAN 各国の首脳を含め、政財官に広く人脈をお持ちであり、今回は、ASEAN の人々の考え方や行動様式について、カンボジアを例にとってお話いただきます。

カンボジアに限らず、ASEAN についてご関心のある方は、是非お越しください。きっと今までとは違った見方が提供されるものと思います。

9 海外インフラ・PPP プロジェクト参画に向けて

ープロジェクト出資、企業買収等による成功事例ー

(2月24日(金)) デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー

合同会社 Vice President 多胡 雄太 様)

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社は、「日本のビジネスを強く、世界へ」をコーポレートスローガンに掲げておられ、日本企業の事業基盤強化や、海外へのビジネス展開などを支援してきておられます。

今回の講演では、海外インフラ・PPP プロジェクトの現状や、プロジェクト出資、M&A 等による成功事例とこれに対する同社の支援などについてお話をいただきます。なお、講師の多胡様は、経済産業省での勤務経験もあり、わが国のエンジニアリング業界については、熟知されておられる方です。

海外営業部門や財務部門の皆様に、お聞きいただければ幸いです。